

クライアントサイドスクリプトを利用した
料理レシピ人数変更システム
荒木健太 (21111012ka@tama.ac.jp)

1. 目的

本研究の目的は、料理を普段より簡単に作れるようにすることである。当面、インターネット上のレシピサイト「クックパッド」[1]を利用する。クックパッドのレシピの料理の材料の量が 2 人前で表示されているとき、家族が多い家庭は 2 人前から希望の人数分に計算しなくてはならなくなる。このとき分数の計算などの複雑な計算をしなくてはならなくなるが、知りたい人数分の材料の量に自動的に計算することができれば、大変な計算を自分でしなくてもよくなり、料理を普段より簡単に作るができるようになる。

2. 手法

クライアントサイドスクリプトである Greasemonkey を使用し(図2)getElements を用いてクックパッドからレシピの情報を直接取得し正規表現のmatchを用いて、その情報の数字と記号と文字でわけることで数字を計算できる型にする。このとき、分数を正しく扱う必要がある。たとえば、2 人前の「ネギ1/2本」を5人前にすると、「ネギ1+1/4本」と表示しなければならない。小数はそのまま扱う。入力フォームを作成することで、後から自分が変えたい人数を入れることができ、その人数の量を表示することができる。

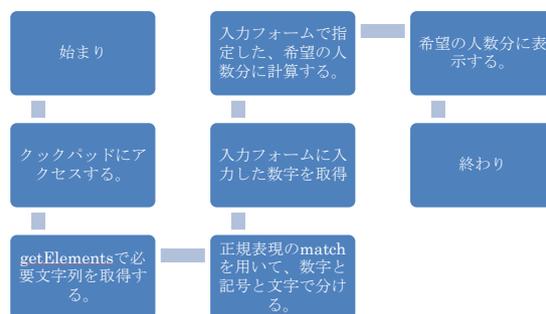
3. 結果

ブラウザ上でこちらが入力した数字の

人数分の材料の量にすることができ、分数の表示を3/2なら1+1/2と表示させることや2/4を1/2と表示させることができるようになっている。入力フォームを作成することで、ブラウザ上で知りたい人数分を入力でき、知りたい人数分の材料の量を表示することができる。(図1)

4. 発展

現在の段階である問題点としては、クックパッドはユーザー側がレシピの投稿するシステムのため、材料の表記に統一性がなく数字以外で材料の量を表記していることがある。そのため、数字で表記されていなければ使えない。レシピに何人前なのかの表記がないと変換できない問題点がある。問題点をなくすことで、より使い勝手が良いものにしようとしている。



システムの流れ(図1)



クライアントサイドスクリプト概要(図2)

参考文献

[1] 「レシピ検索No.1/料理レシピを載せるならクックパッド」 <http://cookpad.com/>